作成日：2012年11月16日

# 製品安全データシート（追加情報）

1. 製品及び会社情報

製品名：日産スピノエース顆粒水和剤
会社名：日産化学工業株式会社
住所：東京都千代田区神田錦町三丁目7番地1
担当部門：農業化学品事業部　企画開発部　登録グループ
電話番号：03-3296-8151　　FAX番号：03-3296-8016
用途及び使用上の制限：農薬（殺虫剤）、農薬登録内容以外の使用は不可

2. 適用法令

農薬取締法：第20179号（日産化学工業株式会社）

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の製品安全データシート（MSDS）「スピノエース顆粒水和剤」（ダウ・ケミカル日本株式会社）2012年07月13日（作成）を参照してください。

# 安全データシート

Dow AgroSciences

## 製品名：スピノエース™ 顆粒水和剤（Spinoace WG）　作成日：2012 年 7 月 13 日（GHS 版）

### 1.化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：　スピノサド水和剤

会社名：　ダウ・ケミカル日本株式会社　ダウ・アグロサイエンス事業部門

住　所：　東京都品川区東品川二丁目2番24号天王洲セントラルタワー

電話番号：　03－5460－6546　　FAX番号：　03－5460－6291

メールアドレス：　dasjapan@dow.com

緊急連絡先：　0120－001017

中毒に関する緊急問合せ先　：　大阪中毒110番　072－727－2499

つくば中毒110番　029－852－9999

推奨用途：　農薬（殺虫剤）

---

### 2.危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|---|---|---|
| 物理化学的危険性 | （すべての項目で分類対象外または分類できない） | |
| 人に対する健康有害性 | 急性毒性（経口） | 区分外 |
| | 急性毒性（経皮） | 区分外 |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 区分外 |
| | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 区分 2B |
| | 皮膚感作性 | 区分外 |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分外 |
| | 発がん性 | 区分外 |
| | 生殖毒性 | 区分外 |
| | 特定標的臓器（全身毒性）（反復ばく露） | 区分 2 |
| | | （肝臓、脾臓、甲状腺、胃、ﾘﾝﾊﾟ節） |
| | （記載がないものは、「分類対象外」または「分類できない」） | |
| 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性 | 区分 2 |
| | 水生環境慢性有害性 | 区分 2 |

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　警告

危険有害性情報：　眼刺激

長期又は反復経口ばく露による

肝臓、脾臓、甲状腺、胃、リンパ節の障害のおそれ



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き：

【安全対策】
ダスト、ミストを吸入しない。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。
環境への放出を避ける。
【応急措置】
飲み込んだ場合、口をすすぐ。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡する。
気分が悪い時は、医師の手当、診断を受ける。
漏出物は回収する。
【保管】
容器を密閉して乾燥した場所で保管する。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

## 3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 ： 混合物

化学名（一般名）： スピノシンA及びD（スピノサド）

| 成　分 | 含有量（%） | 化学式 | 官報公示整理番号 | CAS No. |
|---|---|---|---|---|
| スピノシンA<br>スピノシンD | 21.0<br>4.0 | $C_{41}H_{65}NO_{10}$<br>$C_{42}H_{67}NO_{10}$ | ― | 131929-60-7<br>131929-63-0 |
| 鉱物質微粉、界面活性剤等 | 75.0 | ― | ― | |

## 4.応急処置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
緊急の医療処理は必要ない。

皮膚に付着した場合： 接触した部位を多量の水を用いて洗い流す。

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズは、1～2 分洗眼した後に外し、さらに洗眼を続ける。
眼の刺激が持続する場合は、医師の手当、診断を受ける。



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

飲み込んだ場合:　口をすすぐ。緊急の医療処理は必要ない。

予想される急性症状及び遅発性症状:情報なし

最も重要な兆候及び症状:情報なし

医師に対する特別注意事項:情報なし

## 5.火災時の処置

消火剤:　水噴霧、泡消化剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤:

特有の危険有害性:　火災時に以下の刺激性及び有害なガスを発生するおそれがある。
－窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素

特有の消火方法:　危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去する。

消火を行う者の保護:　燃焼生成ガスに暴露されるおそれがあるときは、陽圧型自給式空気呼吸器(MSHA/NIOSH 認定品もしくは同等品)及び全面保護衣を着用する。

注　意:　消火排水は公共下水道や河川等に流出させない。

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項:環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。

回収、中和:　漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化の方法・機材:

二次災害の防止策:　すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:　「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気:　「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱い注意事項:使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。
ダスト、ミストを吸入しない。



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

接触回避： 情報なし

保　管

技術的対策： 特別な対策は必要としない。

混触危険物質： 情報なし

保管条件： 容器を密閉して乾燥した場所で保管する。
食物や飼料、飲料水のそばに保管してはならない。

容器包装材料： 情報なし

## 8.暴露防止および保護措置

| 成　分 | 管理濃度 | 許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標） | |
|---|---|---|---|
| | | 日本産業衛生学会（2008 年版） | Dow AgroSciences |
| スピノサド | ― | ― | TWA値 0.3 mg/m$^3$ |

設備対策： ばく露を防止するため、装置の密閉又は局所排気設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具： 防塵マスク

手の保護具： 不浸透性手袋

眼の保護具： ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 淡褐色水和性細粒　比重： 0.76 [2)]　pH： 10.0 [2)]

オクタノール／水分配係数： log Pow スピノシンA；3.9、スピノシンD；4.4 （23℃）（蒸留水） [1)]

## 10.安定性及び反応性

安定性： 通常の条件下では安定

反応性： 通常の条件下では安定

危険有害反応可能性： 重合は生じない

避けるべき条件： 加熱

混触危険物質： 強酸化剤

危険有害な分解生成物：燃焼の際は、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物などが生成される。



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

## 11.有害性情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 急性毒性 | 経口 $LD_{50}$ （ラット） | ＞5000 mg/kg(雄雌) 1) | GHS分類：区分外 |
| | 経皮 $LD_{50}$ （ラット） | ＞2000 mg/kg（雄雌） 1) | GHS分類：区分外 |
| 刺激性 | 皮膚刺激性（ウサギ） | 軽度の刺激性 1) | GHS分類：区分外 |
| | 眼刺激性（ウサギ） | 軽度の刺激性 1) | GHS分類：区分2B |
| 皮膚感作性 | 皮膚感作性（モルモット） | 陰　性 1) | GHS分類：区分外 |

生殖細胞変異毒性　スピノサド原体の遺伝毒性は認められなかったこと 1)から、区分外とした。

発がん性　スピノサド原体のラット及びマウスを用いた慢性毒性/発がん性試験で発がん性が認められなかった 1) ことから、区分外とした。

生殖毒性　スピノサド原体のラット及びウサギを用いた催奇形性試験において、催奇形性は認められず、ラットを用いた混餌投与による二世代繁殖毒性試験において、繁殖能に対する影響が認められなかった 1) ことから、区分外とした。

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：データなし

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：

区分2に該当するスピノサドを製剤中に25%含むため、区分2（肝臓、脾臓、甲状腺、胃、リンパ節）とした。

吸引性呼吸器有害性　データなし

## 12.環境影響情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 水生環境急性有害性 | $LC_{50}$・96hr（コイ） | 410 mg/L 1) | GHS分類：区分外 |
| | $EC_{50}$・48hr（オオミジンコ） | 7.7 mg/L 1) | GHS分類：区分2 |
| | $ErC_{50}$・24-72hr（藻類） | 190 mg/L 1) | GHS分類：区分外 |

水生環境慢性有害性　急性毒性区分2であり、急速分解性がない［BODによる分解度1% 1)］ことから、区分2とした。

## 13.廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

## 14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報　IMOの規定に従う。

UN No.：3077

Proper Shipping Name：ENVIROMENTALLY HAZAEDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.

Class：9

Packing Group：Ⅲ

Marine Pollutant：Yes

航空規制情報　ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.：3077

Proper Shipping Name：ENVIROMENTALLY HAZAEDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.

Class：9

Packing Group：Ⅲ

国内規制

陸上規制情報　該当しない

海上規制情報　該当しない

航空規制情報　該当しない

特別の安全対策　輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
移送時にイエローカードの保持が必要。

## 15.適用法令

農薬取締法　登録番号　第20178号

水質汚濁に係る農薬登録保留基準値：スピノサドー0.063mg／L

## 16.その他

参考文献

1）自社データ

2）農薬登録申請資料（2005）

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。

ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

また、本記載内容は現時点で入手できる一般情報及び自社情報に基づいて作成してありますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではなく、新しい知見によって改定されることがあります。

さらに、記載の注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

本品（当該製品）を農薬として使用する場合、製品ラベルに記載されている注意事項に従って使用することで安全を確保することができます。



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標